

【かやの木資料館とその周辺の山林にて】

子どもたちは、かやの木資料館とその周辺の山林を訪れ、まず、かやの木資料館の館長である講師の尾中氏の案内で山歩きをしました。講師は、熊野地方に古くから伝わる「なすび^{すく}選り」による林業を行っている林業家で、子どもたちに、なすび選りによる林業の方法や、森林環境の保全などのお話をいただきました。また、シカやイノシシから木を守るための石垣や、植えた木にネットをかけて食害から守る方法、イノシシを捕まえるための落とし穴跡などを見て歩き、獣害について問題意識を持ちました。

かやの木資料館では、木^こ挽きが使用したノコギリや木を登るときに使う「かるこ」などの山林道具を見学しました。刀鍛冶の方から、のこぎりやなたの手入れの方法など、地域の林業を支える道具のお話も伺いました。

また、大のこぎり^こで木挽き体験を行い、地域の伝統林業についてお話を聞きました。



【小学校にて】

講師の辻本氏に学校へ来てもらい、シカ、イノシシ、サルによる苗木や農作物への被害について教えていただきました。また、捕まえた野生生物の資源としての有効活用についてのお話も聞き、農山村で問題となっている獣害について学びました。



プログラム概要

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三ッ口山見学と体験 ・かやの木資料館見学と山歩きをしながらの森のお話 ・獣害についてのお話
時間	合計 9時間
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・三ッ口山（熊野市五郷町） ・かやの木資料館とその周辺の山林 ・小学校教室
対象	全校児童 12人
講師	森のせんせい：辻本力太郎氏 森のせんせい：尾中鋼治氏
備考	公益社団法人三重県緑化推進協会 森林環境教育促進事業助成金を活用